

## グループワークの進め方

### 1 午前グループワーク（10:40～12:00）の進め方と事例

テーマ『健康危機発生時における自身の役割・行動を考える ～実際の事例によるシミュレーション～』

目的：統括的役割を担う保健師と、保健師とともに災害時に対応する職種がともに健康危機発生時の保健活動体制について考え共通認識することで、平時からの連携体制の構築も含め、具体的な取り組みを推進する。

目標 1) 健康危機時を想定したグループワークを通して、統括的な役割を担う保健師が自身の役割を具体的に理解できる。

2) 健康危機管理体制を担う他職種と統括的役割を担う保健師が、それぞれの役割の相互理解を深めることができる。

●10:40～のグループワークは以下のように進めます。

会議前に、以下の【グループワークの進め方】および【事例】をご覧ください、各お立場で、Q1-1～Q2-2を事前に考えて、ご参加ください。

【グループワークの進め方】下記の時間は目安です。各グループの状況に応じて進めてください。

時間（目安）	活動	必要物品等
10時40分	グループワークの説明	
10時43分	ブレイクアウトルームへの移動	各自参加をクリック
10時43-50分 (7分)	司会者・発表者の確認 各自、1分で自己紹介	・名簿 ・氏名、所属、健康危機時の役割、本会議参加理由
	事例の確認（1分）	・事例
10時50-10時55分 (5分)	Q1-1について	・事例<状況1>
10時55-11時15分 (20分)	Q1-2について	・事例<状況1> *11時10分に文字アナウンス
11時15-11時20分 (5分)	Q2-1について	・事例<状況2>
11時20分-11時40分 (20分)	Q2-2について	・事例<状況2>
11時40分-12時 (20分)	全体セッションへの引き戻し グループからの発表 2事例（広島市、熊本県）への質疑応答	・全体セッションで実施

## 【事例】

### <状況1>

X年5月3日午前1時25分、A県は、今まで経験したことのないような大規模な地震に見舞われ、県内の約2/3の市町村が被災。余震も続き、緊急速報を告げるアラームは鳴り続けている。

自所属管内では、1村で震度7、他の1市3町2村も震度5強以上を観測。その後も複数の市町村で震度5以上の地震を観測し、余震も続いている。

職員Dの自宅も本棚が倒れ、食器も散乱した。自宅で見たニュースでは、家の倒壊や道路の亀裂、橋の崩落、山腹崩壊等により、主要道路が通行止め、鉄道も運転再開のめどがない状況となっている。多くの方が家の倒壊を恐れ、校庭や役場の駐車場、車中、軒先等に不安そうに避難している様子が映しだされている。

また、自所属周辺及び管内でも、停電や断水等のライフラインの途絶、家の倒壊により死者や行方不明者もいる模様。

県庁から安否確認と登庁予定時刻を入力するようメールが届く。所属内でも緊急連絡網で安否確認し、自身や家族の安全を確保するとともに、登庁できる者から道路の状況等を確認したうえで登庁することとなる。

### Q1-1. あなたは、自分の所属機関への最初の登庁者でした。登庁後まず何をしますか？

ご自身の現在の所属および職位・職種で考えてください。

→あなたが行う必要があることを、自分の所属や職種以外の方が具体的に理解できるように、グループメンバーへ1分で説明してください

- ・
- ・
- ・

### Q1-2. 上記の役割を担えるために、平時に何をどのように準備しておけばよいでしょうか？

自部署・他部署への要望も含めて意見交換してください（20分間）。

- ・
- ・
- ・

## <状況2>

自所属職員数は22名で19名がC地域外から通勤だった。道路・交通機関事情や自分自身あるいは家族の被災があったため、すぐに登庁できた職員は少なく、発災1日目は自所属の近くに住む職員2名、遠回りをしながら半日以上かけて登庁した所長や職員3名を合わせた5名で対応。ライフラインも途絶えた中、電話や来所等、担当外の業務に関する様々な問い合わせや相談、苦情等の対応にも忙殺される。発災2日目より徐々に職員が参集。一部の職員は直接被災市区町村にも入り情報収集開始。

厚生労働省からは県をとおして、保健師応援派遣の連絡があり、管内市町村に20チームが入る。災害拠点病院にはDMAT活動拠点本部が立ち上がって医療救護活動を行っている。更に、管内市町村には、保健医療支援チームとして、DMAT、日赤救護チーム、自衛隊、JMAT、日赤、国境なき医師団、歯科医師会、薬剤師会、TMAT…、名前も聞いたこともないNGO等、県内外の支援チームが続々と支援に入ってきている。

しかしそれぞれの保健医療支援チームが個々に活動しており、多種多様な情報が保健所（あるいは市区町村保健窓口）にバラバラと上がってきて、処理ができずに問題点がよく見えない。水・食料や乳児用ミルク、食物アレルギー用食品、携帯・簡易トイレ、トイレットペーパー、毛布、段ボールベッド、冷房機器等の災害支援物資もプッシュ式に次々と自所属や市区町村に届くが、どのように分配するか見通せない状況。

### Q2-1. ご自身の現在の所属および立場として、あなたは、何をする必要がありますか？

→あなたが行う必要があることを、自分の所属や職種以外の人が具体的に理解できるように、グループメンバーへ1分で説明してください

- ・
- ・
- ・

### Q2-2. 上記の役割を担えるために、平時に何をどのように準備しておけばよいでしょうか？

自部署・他部署への要望も含めて意見交換してください（20分間）。

- ・
- ・
- ・

## 2 午後グループワーク（14:30～15:30）の進め方

### ●14:30～のグループワークは以下のように進めます。

下記の時間は目安です。各グループの状況に応じて進めてください。

14:30～	グループワークのテーマと進め方の説明
14:35～	<ブレイクアウトルーム開始>  <b>グループワークのテーマ</b> 『～平時からのつながりが生きる～ 統括的役割を担う保健師のネットワークづくりに向けて』  (グループメンバー及び司会・書記は名簿記載のとおり) ・自己紹介(自治体規模、自身の立場、講演や実践報告の感想など) ・テーマについての意見交換 これから取り組んでみたいネットワークづくり等
15:05	<ブレイクアウトルーム終了>
15:05～	3つのグループから発表(各グループ3分程度) まとめなど
15:25	グループワーク終了